

編集後記

今年度も、長崎大学工学研究科インフラ長寿命化センター成果報告書（平成 26 年度）を、無事こうしてお届けする事ができました。ご多忙の中、ご寄稿して頂きました先生方、ご協力していただきました方々、そして編集についてご指導いただきました高橋和雄先生に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

後半に入り、センターの活動が盛んになり、スタッフも増員されました。今までは、入れ替わりが激しく、その都度引継ぎも乏しいまま、自転車操業での業務でしたので、業務体制や設備の管理などが曖昧でしたが、今年度にはそのような管理体制を統一化して組織としてのシステム向上を目指し、そしてかなり体系化されました。また、皆個性豊かで、毎日楽しく、和気あいあいと活動することができました。

道守が民間資格に認定されたこともありますので、スタッフ一同、今まで以上に発展に尽くし活動していく所存です。今後ともよろしく願いいたします。

最後に、今年度インフラ長寿命化センターの活動に携わってくださった多くの関係者の方々に、深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

インフラ長寿命化センター
平成 26 年度 事業報告書
編集員 橋 勢人

長崎大学大学院工学研究科
インフラ長寿命化センター活動報告書
＜平成 26 年度＞

編集・発行 長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター
〒852-8521 長崎市文教町 1-14
TEL:095-819-2880 FAX:095-819-2879
<https://michimori.net/>
michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

印刷・発行月 平成 27 年 3 月